

海田小学校教育目標

夢への挑戦「自ら学び 自ら伸びる」

めざす児童像

聞いて 考えて 行動できる子ども  
 自他を大切にできる子ども  
 目標をもち ねばり強く取り組む子ども  
 体力づくりに励む子ども

本年度重点目標

- 確かな学力の定着**
- ・既習事項を活用して学習する。
  - ・基礎基本の定着と活用力の向上を図る。
  - ・無解答率0をめざしてあきらめない学習。
- 豊かな心の育成**
- ・自尊感情の育成・自己肯定感を高める。
  - ・あいさつ日本一をめざす。
  - ・共感的人間関係の育成と聴く力の育成を図る。
- 体力・耐力の育成**
- ・スポーツテストの効果的な活用を行う。
  - ・ランランランへ目標ある取組を行う。
  - ・体育の授業改善を行う。
  - ・欠席0に向けた取組を行う。

評価項目1

確かな学力の定着を図る。

評価指標

学力調査（4月全国・6月基礎基本・1月海田町）等の**基礎問題通過率60%未満を0にする。または平均正答率が全国，県平均を上回る。**

学力調査（4月全国・6月基礎基本・1月海田町）等の**活用問題で平均正答率が全国，県平均を上回る。**

○基礎問題・・・正答率が全国平均を上回っています。通過率30%未満の児童も減ったので、30%～60%未満の児童に力を入れる取組を考えています。  
 ○活用問題・・・正答率が全国・県平均を大きく上回りました。

自己評価点

3

具体的方策	成果（○）と課題（▼）成果・課題（・）	改善策
<p>○校内研修による<u>社会科，総合的な学習の時間，生活科を中心とした授業改善。</u></p> <p>活用力をもっと高めるためには、<b>日々の授業改善</b>が必要だと考えています。</p>	<p>○「能動的な学び」について校内研修を行ったことで、具体的な目指す児童の姿，そのための授業改善の方策が見えてきた。</p> <p>○「実践一工夫」の取組を始め，主体的・能動的な学びを日々の授業で行えるようにした。</p> <p>▼社会科，総合的な学習の時間，生活科において，児童がより主体的に学べるように，単元全体の構想を練り直す必要がある。</p>	<p>・引き続き，児童の「能動的な学び」を意識した校内研修，授業研究・協議会・実践交流を行う。</p> <p>・各学年で，総合的な学習の時間・生活科について，児童が能動的に学べるよう学びのサイクルを意識した単元構成を考える。</p> <p>社会科の授業改善の具体策について，指導を受ける機会を設ける。</p>

どうしたら，児童が主体的に学ぼうとするようになるかな？

具体的方策	成果（○）と課題（▼） 成果・課題（・）	改善策
<p>○校内研修による <u>社会科、総合的な学習の時間、生活科を中心にした</u> 授業改善。</p> <p>○事前学習や海小タイム・家庭学習の充実。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>基礎力をもっと高めるためには、個別指導や家庭学習の習慣化が必要だと考えています。</p> </div> <p>○無解答0へ向けて、学習意欲の向上、学習指導の充実。</p> <p>○通過率30%未満の児童への個別指導の充実。</p>	<p>▼NRTにおいて、「活用」に関する問題（記述問題を含む）は、「基礎」より全国平均を大きく上回っているもの、正答率が高いとは言えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で、課題に対して「なぜだろう」「やってみよう」と思わせるような工夫や手立てを行っていると言った教員は100%。「よくあてはまる」と答えた教員は25%であった。</li> <li>・授業で、課題に対して「なぜだろう」「やってみよう」と感じている児童は約90%、そのうち「よくあてはまる」と答えた児童は約60%であった。</li> <li>○海田町の調査問題において、児童のつまづきそうなところを分析し、それに対応した類似問題を作成し、繰り返し反復練習した。そのことで、苦手な部分を克服できたり、弱い部分があきらかにできたりした。</li> <li>○各学年の交流を受けて、家庭学習の手引を作成し、保護者に配布。懇談会で説明した。</li> <li>▼「海小タイム」の活用ができにくかった。</li> <li>○基礎タイムの充実、ステップアップカード（5年）の実施などを行ったりすることにより、学習意欲の向上がみられ、「基礎・基本」定着状況調査、全国学力・学習状況調査ともに、無解答1pt以下を達成することができた。</li> <li>○5・6年生の30%未満の児童を対象にした放課後学習・給食準備中学習を組織的に実施してきた。そのことで、とりわけ学力的にしんどい児童に、学習意欲、学力の向上が見られた。</li> <li>・NRTでは、無解答率が学校平均で、国語2.2%、算数1.3%、理科1.1%であった。海田町学力調査では、国語・理科については無解答0、算数においては学校平均1.5%であった。</li> <li>▼1～4年生の30%未満の児童の個別学習の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科、総合的な学習の時間、生活科の学習を、活用力の向上を図るための時間と位置付け、言語活動（論理的な思考）を意識的に取り入れたり、表やグラフなどの資料を読み取り、比較・分析したりするような活動を仕組む。</li> <li>・児童に「能動的な学び」の意義、価値付けを行う。</li> <li>・引き続き、児童用の家庭学習の手引を作成し、児童に具体的な目的・内容・目指す姿を示す。</li> <li>・家庭学習としての「週末チャレンジ」の位置付けを確認する。（海小タイムに準ずる。）</li> <li>・「海小タイム」「朝の基礎タイム」の各学年への人配を行い、習熟度別学習が可能な体制を整える。</li> <li>・学年ごとに、NRTの分析をすることで、学年としての弱いところ、得点率40未満の児童を把握し、改善計画を立てる。</li> </ul>

## 評価資料（一部）

### 1 学力調査結果

(1) 全国学力学習状況調査校内採点結果（第6学年対象：4月21日実施）

	通過率		
	海田小 (%)	全国 (%)	広島県 (%)
国語 A	83.9	72.9	78.4
国語 B	69.2	57.8 (+11.4)④	60.5 (+8.7)④
算数 A	88.4	77.6	79.7
算数 B	60.8	47.2 (+13.6)④	49.5 (+11.3)④

※ A問題（国語A，算数A）は基礎問題。B問題（国語B，算数B）は活用問題。

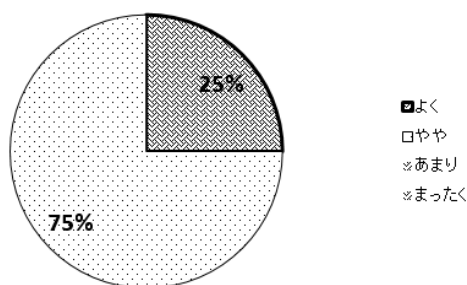
(2) 広島県「基礎・基本」定着状況調査（第5学年対象：6月9日実施）

	通過率			
	海田小 (%)		広島県 (%)	
国語タイプ I	86.0	80.5	68.0	63.7
国語タイプ II	46.2		36.7 (+9.5)④	
算数タイプ I	89.3	82.7	74.9	69.4
算数タイプ II	61.8		52.0 (+9.8)④	
理科タイプ I	82.1	75.9	68.1	60.6
理科タイプ II	64.4		46.7 (+17.7)④	

※ タイプ I（国語タイプ I，算数タイプ I，理科タイプ I）は基礎問題。  
タイプ II（国語タイプ II，算数タイプ II，理科タイプ II）は活用問題。

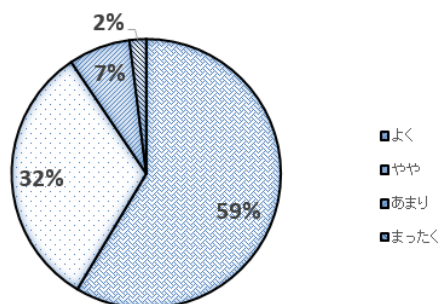
### 2 教職員アンケートの結果

授業では、解決しようとする課題について、児童生徒に「なぜだろう」、「やってみたい」と思わせるような工夫や手立てを行っている。



### 3 児童アンケートの結果

授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみたい」と思います。



#### 4 家庭学習の手引き（保護者用）

	低 学 年		中 学 年		高 学 年	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
目 標	家庭学習の習慣形成		家庭学習の習慣定着		家庭学習の習慣完全定着	家庭学習から自主学習へ
基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読</li> <li>漢字練習</li> <li>計算カード</li> <li>計算練習</li> <li>日記</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>音読</li> <li>漢字練習</li> <li>意味調べ</li> <li>計算練習（計算カード）</li> <li>日記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読</li> <li>漢字練習</li> <li>意味調べ</li> <li>計算練習</li> <li>都道府県</li> <li>日記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読</li> <li>漢字練習</li> <li>意味調べ</li> <li>計算練習</li> <li>都道府県</li> <li>日記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読</li> <li>漢字練習</li> <li>意味調べ</li> <li>計算練習</li> <li>歴史</li> <li>日記</li> </ul>
目 標	（自主学習の楽しさを味わう）		自主学習への挑戦 【めあてとまとめ】	自主学習の定着 【めあてとまとめ】	自主学習の充実 【図や言葉を使って】	自主学習の発展 【図や言葉を使って】
自主学習 （例）	（学校で学習した内容の復習に チャレンジしてみよう）		<ul style="list-style-type: none"> <li>復習</li> <li>ローマ字</li> <li>図形の性質・作図</li> <li>辞典や図鑑の活用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>予習・復習</li> <li>ことわざ</li> <li>慣用句</li> <li>ローマ字</li> <li>新聞記事調べ</li> <li>辞典や図鑑、インターネットの活用</li> </ul>	
	読 書					
行事作文	「自分の気持ちを伝える」 100～400字程度		「他者とのかかわりを通して」 400字～800字程度		「地域や社会、他者とのかかわりを通して」 800字～1200字程度	
週末 チャレンジ	活用問題					
目標時間	20分	30分	40分	50分	60分	60分以上
<b>①テレビや音楽は消して ②机の上をきれいにして ③よい姿勢で 集中して学習しましょう</b>						